

シラス関連の発明が特許登録

豊和直株式会社と共同出願していました「白色度及び耐熱性に優れた火山噴出物発泡粒体及び同発泡粒体集合硬化物並びにそれらの製造方法」が平成17年1月14日に特許として登録されました。（特許第3635289号）

この特許は、シラスバルーンの粒子表面をリン酸アルミニウムで覆うことにより、従来のシラスバルーンよりも耐熱性が300 向上し、白色度

も向上した新しいシラスバルーンを製造する発明です。シラスバルーンは、シラスを高温で急速に処理したとき水分が発泡してできる粒子で軽量性、耐熱性、断熱性を活かした利用がなされていますが、今回の特許により、工業用原料としての用途がさらに広がりました。

特許の詳細等につきましては、企画情報部までご連絡下さい。

高峯 和則主任研究員が博士（工学）の学位を取得



食品工業部の高峯和則主任研究員が、平成17年3月25日に熊本大学から博士（工学）の学位を取得しました。学位論文テーマは、「澱粉粕の高付加価値素材の製造プロセスに関する研究」です。

論文の概要は、サツマイモ澱粉工場から排出される澱粉粕について、廃棄物のリサイクルやゼロエミッションの観点から澱粉粕を資源として捉え、食物繊維、バクテリアセルロースおよびペクチンといった付加価値の高い素材に変換する製造プロセスの開発およびそれぞれの素材の特性を明らかにしたものです。

「二十一世紀の民家をつくるシラス物語」を刊行

素材開発部の袖山研一主任研究員が監修を務めた書籍「二十一世紀の民家をつくるシラス物語」が平成17年1月30日に社団法人農山漁村文化協会から刊行されました。「火山生まれのシラスでつくるエコ住宅」のキャッチコピーでは、「内外の壁材から天井材、浴室床材、タタキ材まで2万5千年前の火山性堆積物が建材になった。シックハウスやアレルギーに克つ家づくりの素材を紹介」と書かれています。この中で、当センターのこれまでの研究成果が紹介されています。内容は以下の目次のような構成になっています。

忘れられた地上資源

第1部：シラスが変えた住まい

第1章：シラスの家で自然な暮らしを手に入れる

第2章：スローな家づくり。家の中も、家の周

りも気持ちよく

第3章：シラス壁の健康効果を徹底検証する

第4章：21世紀のスタンダードに。未来を変えるシラスの家

第2部：シラスが変える日本

第5章：シラスが変えた南九州と日本の歴史

第6章：シラスを夢の資源に変える

第7章：シラス壁の誕生物語

